

令和4年度 第1回取手・竜ヶ崎保健医療福祉協議会  
(第1回取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議合同) 会議録

1 会議の日時及び場所

(1) 日時

令和4年5月16日(月) 19:05から20:20まで

(2) 場所

Web会議及び竜ヶ崎保健所2階大会議室

2 出席した委員の氏名及び欠席した委員の氏名

(1) 出席した委員

- ◎富満弘之委員、◎海老原次男委員、◎福井次矢委員、◎眞壁文敏委員、
- ◎菊地達之委員、◎宮本二郎委員、◎河合清委員(代理 小池右氏)、◎兼久大輔委員、
- ◎木樽京子委員、◎萩原勇委員、◎松丸修久委員、
- 小野操一委員(代理 木村誠一氏)、◎坂本操委員、○西君枝委員、○浅野有子委員、
- 中村寿子委員、●遠藤優枝委員、●佐藤学委員、●瀬下明良委員、●金子剛委員、
- 鈴木武樹委員、●牛尾浩樹委員、●岩瀬剛委員、●石井啓一委員、●田宮菜奈子委員、
- 石田久美子委員

(2) 欠席した委員

- ◎関根英市委員、◎嶋田一郎委員、○関口要委員、◎岡見清委員、◎高橋章夫委員、
- 葉梨衛委員、○細谷典幸委員、●篠田雄一委員

※ ◎は、協議会委員及び調整会議委員兼任の委員

○は、協議会委員専任の委員

●は、調整会議委員専任の委員

3 議題

(1) 諮問事項

ア 地域医療構想の推進について 【資料1】

(2) 報告事項

ア 茨城県保健医療計画の改定(令和4年3月)について

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/keikaku/koso/health-med-plan/r3-minaoshi-3.html> (茨城県ホームページ:第7次茨城県保健医療計画)

イ 令和3年度医師派遣要請結果について 【資料2】

ウ 管内の新型コロナウイルス感染症の概要について 【資料3】

4 議事の概要

(事務局 竜ヶ崎保健所 會田次長)

委員の皆様には、お忙しいところご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。定刻を過ぎましたので、ただいまから令和4年度第1回取手・竜ヶ崎保健医療福祉協議会及び第1回取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議を開会いたします。

私は、本日の進行を務めます竜ヶ崎保健所次長の會田でございます。よろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、竜ヶ崎保健所長の石田より、ご挨拶申し上げます。

(事務局 竜ヶ崎保健所 石田所長)

竜ヶ崎保健所長の石田でございます。本日の取手・竜ヶ崎保健医療福祉協議会及び地域医療構想調整会議の事務局として、一言御挨拶申し上げます。

本日は、リモート参加の方も含めまして皆様方、お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

取手・竜ヶ崎保健医療福祉協議会、それから取手・竜ヶ崎地域医療調整会議、二つの会議を合同で開催させていただきたくてでございます。

地域医療構想は保健医療計画の一部であり、今は第7次茨城県保健医療計画で、これは平成30年から2023年度までの計画になっており、2023年度には、次の第8次の計画の策定が本格化してまいります。

第8次の計画では、医師の働き方改革、感染症等の感染拡大時の医療提供体制の確保、こういった内容も計画の中に盛り込まれる予定です。

第8次の業務計画の策定が本格化する2023年度のその前に2022年度、本年度になりますが、この地域医療構想調整会議で、民間の医療機関も含めた具体的な医療体制の対応方針について検討する、完了するということを目指しております。

本日は、管内の全病棟の機能についての再確認、1年間に病床をすべてが稼働していない病棟の今後の運営の計画、また、医療機能の拠点化・集約化等について、皆さんにご検討いただき、ご意見をいただきたいと考えております。

どうぞ本日はよろしくお願いいたします。

(事務局 竜ヶ崎保健所 會田次長)

本日の会議はWebで参加の方と保健所にご出席いただいている方がおります。別添の出席者名簿にてご確認をお願いいたします。

皆様方の中で、委員に就任されて初めてご出席いただきました方の名前のみご紹介させていただきます。

東京医科大学茨城医療センター病院長の福井様、竜ヶ崎市長 萩原様、竜ヶ崎警察署長 小野様ですが、本日は木村警備課長様が代理出席されています。

竜ヶ崎保健所管内食生活改善推進委員協議会長 西様、全国健康保険協会茨城支部、レセプトグループ長、佐藤様。以上になります。

どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

本日の配付資料ですが、会議次第、出席者名簿、委員名簿、保健医療福祉協議会設置要綱、地域医療構想調整会議設置要綱、本日の資料といたしまして、資料1、及び別添1から5。それか

ら、資料 2、また本日送付させていただきましたが、資料 3 新型コロナウイルス感染症の概要について、以上となっております。

不足している書類等がございますでしょうか。

それではないようなので、議事の方に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、取手竜ヶ崎保健医療福祉協議会会長であります、取手市医師会長の真鍋会長にお願いいたします。

(真壁協議会長/調整会議長)

真壁です、まず挨拶からさせていただきます。私は取手市医師会会長の真壁でございます。

本日の取手龍ヶ崎保健医療福祉協議会の会長も務めさせていただいております。そんなことで、私が進行を議事の進行を務めさせていただきたいと思っております。

本日は、ウェブからのご参加の方、また会場からのご参加の方とおられますが、いずれにしても、こういう最新のツールを用いて委員の皆様のお顔が見える形での議事進行となりますので、ひとつよろしくをお願いいたします。

本日は委員の皆様のご協力を得まして、会議を全うして参りたいと思っております。

本日の会議を有意義なものにして参りたいと考えておりますので、皆様におかれましては忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

簡単ですが、挨拶とさせていただきます。

まず、最初に会議録の署名者を決めていかなければなりません。

私の方で指名をさせてもらってもよろしいでしょうか。

(異議なし)

特にご意見がないのでこちらで指名をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

お二人いらっしゃるのですが、お一人は龍ヶ崎市医師会長の菊地委員にお願いをしたいと思っております。

(菊地委員)

はい。よろしくをお願いいたします。

(真壁協議会長/調整会議長)

よろしく申し上げます。お二人目は稲敷広域消防本部消防長の坂本委員にお願いしたいと思います。

(坂本委員)

よろしく申し上げます。

(真壁協議会長/調整会議長)

ありがとうございます。

それでは、そのお 2 人にですね会議録の署名者になっていただきたいと思いますのでお願いいたします。

議事の進め方については、議題について事務局から説明を受けた後、委員の皆様からのご意見、ご質問をお受けするという形で進めたいと思っておりますので、お願いいたします。

本日の議題といたしましては、諮問事項 1 件、報告事項 3 件となっております。

それでは、まず、本日の議事 1、諮問事項のア、地域医療構想の推進について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

----- 資料 1 説明 -----

※ 途中、非稼働病床の非稼働理由と今後の見通しについて、合計で非稼働病床の 7 割を占める東京医科大学茨城医療センター長の福井委員と牛久総合病院の院長である瀬下委員による自院の非稼働病棟に関する説明あり。両委員による説明内容は以下のとおり。

(福井委員)

茨城医療センターの福井です。別添 3-6 をご覧いただきたいと思います。

私自身昨年 10 月からこちらに赴任しております。あまりは詳しくないところもございますが、そこに書いてありますように、約 10 年前に当病院として不祥事があったときに保険医療機関取り消しが行われて、そのあと、保険医療機関の申請が認められたときに、国や茨城県から、病床を減らすようにという指示があって、結果として、現在のように、本館 A 病棟と本館 B 病棟と呼ばれている病棟で 81 床が休床となっております。

実はですね、病院の建物が非常に老朽化しておりますので、設備、建物の建て替えを視野に、これから先 5 年 10 年後、病院として、大学病院としてどのような機能を果たすのかを話し合う委員会が正式に立ち上がりまして、その中で、本館病棟と本館 B 病棟を今後どうするのかを、今年度中に、結論を出す方向で今話し合いを始めたところでございます。

病院全体の病院自体の都合だけではなくて地域全体の、住民の方々の医療を適切に提供できるかどうかという、両方の視点でもって、話し合いを進めていきたいとは思っておりますが、現在のところ、具体的にこういう形になりそうだということまでできておりませんので、恐縮ですがけれども、今話し合いの途中ということしか申し上げられません。申し訳ないですがけれどもそれが現状です。以上です。

(事務局)

ありがとうございました。それでは続きまして牛久愛和総合病院瀬下院長お願いできますでしょうか。

(瀬下委員)

瀬下でございます。

我々のところの資料、別添の 3-5 として資料がついております。

2017 年ですので、もうちょうど 4 年半ぐらい前でしょうか。

それから産科医の先生が確保できなくなって、それ以来産婦人科病棟として休棟しております。

ただ、施設として産婦人科用の施設に作り上げているため、他の科への変換がやや困難なところがあります。

地域の出生数等を見ますと、この牛久の地域はまだそのニーズがあるのではないかとということで、産婦人科の先生方を探してるんですが、残念ながらまだ確保できる見通しはついておりません。

これ以上、長く確保が難しいような場合は、むしろ救急医療等が足りない可能性もありますので、

救急医療そして高度急性期医療、そのような方向に、ベッドを変えていくことも検討しております。  
まだ最終的には決まっておりませんが、今の段階ではそういう状態になっております。  
以上です。

(事務局)

ありがとうございました。

----- 資料 1 説明終了 -----

(真壁協議会長/調整会長)

ただいま説明がありました地域医療構想の推進については、大きく分けて四つの内容がございました。  
まず、最初に、説明のあった各病院と、有床診療所から提出のあった病床機能の見直しについて、  
何かご意見はございませんでしょうか。  
特にないでしょうか。

(発言者なし)

それでは次の説明の方に移りますが、未稼働病床に関する説明について、何かご意見はございませんでしょうか。

(発言者なし)

二つの病院から現状をお話いただいたということもありましたので、それでは、次にありました 4 疾病  
1 事業について、重症者等の治療及び救急搬送の受け入れに関する現状の中心的役割について、  
案が提示されておりますが、この案はいかがだったでしょうか。

これ別添の 4 ですかね、そこにお名前が挙がっていると思うのですが、各疾病の中で取り下げを  
したいという病院や、取り入れて欲しいという希望がある病院等がありましたら、ご審議いただきたいと思  
います。いかがでしょうか。

4 疾病 1 事業ということで、特にないでしょうか、もしありましたら会議中にでもお話いただければと思  
います。

(発言者なし)

表の中段の、救急告示病院にもお名前が挙がっておりますけれども、ここで削除希望あるいは取り  
入れて欲しい等の希望がありましたらまたお知らせいただきたいと思います。

(発言者なし)

4 番目の下の枠ですが、今後の方向性ということで事務局の案がございますのでこれでよろしいかど  
うかも、ご意見をいただきたいと思います。

(発言者なし)

ないようでしょうか。上記の現在高度専門的な治療や手術を行っている医療の中心を中心に拠点化集約化を検討するというございます。

それでは最後に説明のありました、今年度の議論のスケジュールについて、何か、ございますでしょうか。これは別添 5 になっておりますけれども、特にないようでしょうか。

(発言者なし)

それではですね特にないということで、次の議題に移らせていただきたいと思います。次に、報告事項の第 7 次県保健医療計画の改定令和 4 年 3 月について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

----- 改定内容について 説明 -----

(真壁協議会長/調整会議長)

ただいまの説明に対してご質問やご意見はございませぬでしょうか。ないようでしょうか。それでは進めさせていただきます。

次は、報告事項になります。令和 3 年度医師派遣要請結果について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

----- 資料 3 説明 -----

(真壁協議会長/調整会議長)

ただいまの説明に対してご質問やご意見はございますでしょうか。

(発言者なし)

進めさせていただきます。続きまして報告事項になります。管内の新型コロナウイルス感染症の概要について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

こちらに関しましては、本日 Web 会議でご参加の皆様には、メールで別途資料送付させていただいたものですが、説明の方は割愛させていただきます、コピーをご一読いただければと考えております。申し訳ございませぬ。

(真壁協議会長/調整会長)

それでは、この件について質問がありましたら、よろしくお願ひいたします。ご意見ありましたらよろしくお願ひいたします。

(発言者なし)

ないようですので最後にその他として用意されている議事をございますでしょうか。

(発言者なし)

特にないようですので以上をもちまして、本日の議事を終了することといたしまして議場議長の任を終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(岩瀬委員)

美浦中央病院の私岩瀬と申します。

実は美浦中央病院は人工透析をやらさせていただいており、今、人工透析の患者さんが213名おります。最近人工透析の外来に通えないので、入院で受けて欲しいというニーズが結構あります。ところが、ベッドが少ないために、それをなかなか受け入れないということがあります。最近は老人保健施設などに入所していただき、やはり病院の中にももうちょっとベッド数が欲しいと思うのですが、そういう許可というのは得ることができませんでしょうか。いかがでしょうかね。

ちょっとお聞きしたいと思ひまして、眞壁先生この点はいかがでございますか。

(眞壁協議会長/調整会長)

ニーズがある病床はおそらく必要なのだろうと思ひます。

(岩瀬委員)

例えば慢性期はいつもベッドが満床で、時々受けられないことがあります。県南の透析の方々や最近茨城県の中央部からも病床がないので受けてくれないかっていう話もあります。もうちょっとベッドがあったら、10床でもいいから欲しいというふうに思ひています、療養ベッド。ご検討いただければ嬉しいと思ひます。

(眞壁協議会長/調整会長)

なるほど病床が増えることについての是非はあると思ひるのでこの件に関しては、保健所の見解がございましてでしょうか。

(事務局)

現状で一医療機関で増床を受けるとするのはなかなか難しい面がございましてけれども、確認の方は行ってきたいと思ひます。

(岩瀬委員)

ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

(眞壁協議会長/調整会長)

ほかにもございましてでしょうか。

(佐藤委員)

すいません協会けんぽの佐藤といひます。私今回初めてなので基本的なところがまだわかってないかもしれませんが、今一度確認させてください。

医療機能の拠点化集約化に向けた今後の方向性という、別添の4のところについて、今回特に意見はありませんでしたが、この1年間で集約化とか拠点化の作業がされていくのだと思ひます。多くの医

療機関名が上がる中で、皆さんの認識としては委員の間できちんと同意された上で、今後議論を進めていくということも、今回はまず確認されたという認識でよろしいでしょうか。

(真壁協議会長/調整会長)

ありがとうございました。

確かに、今、Web の会議ってということもございましてなかなか発言がしにくいような或いはそのタイミングを逸してしまうようなこともあったかと思います。

何かしらの形で意思確認をしていった方が良いのかなとはちょっと感じているところでございます。保健所事務局この辺はいかがでしょうか。

(事務局)

今後、時間をかけて、こういった中心的になっていく病院等がどこになっていくのかというところの議論を深めていきたいということもございまして、今回ご確認いただき別添 4 は、あくまでも現状ではこういったことになっていきますとご報告させていただきたいという内容になっております。この辺りの議論の方ですね、佐藤委員をおっしゃるとおり今後深めていかなくちゃいけないところかとは思いますが、今回はですねこういう内容で、とりあえずご了承いただければと考えております。

(真壁協議会長/調整会長)

今現時点での方向性であって、今後については、各病院の事情等が変わったりしてきた場合には、希望があったりしたときには速やかに名乗り出ていただいて検討が可能だということでもよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。

(石田委員)

真壁先生、ありがとうございます。所長の石田でございます。

この件に関しましては、それぞれの地域の事情というものはあるかと思えます。当医療圏に関しましては、西の方は守谷からそれから東の方は美浦から阿見といった非常に横に長く広い地域でございます。

どこか一点に集約といった方法が果たしてその実情を考えると、適当かどうかということもございまして。

この地域で適正な医療を提供していくためには、どんな体制が好ましいのかということも含めて 1 年間かけて、県、皆様のご意見を伺いながら決めていきたいというふうに思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから先ほどの岩瀬先生のお話戻りますと、トータルの病床に関しては、当医療圏に対しては、ほとんど 2025 年の必要病床数に近い形になっていますが、先ほどご説明申し上げましたとおり、若干、余剰です。

それなので、増床というのは、先ほど事務局の担当者もご説明いたしましたが、難しい状況かなというふうには思っています。ベッド総数を減らすか増やすといったことと併せて、必要な機能について、ある機能は少し多めにある、ある機能は不足しているというようなこともございまして、機能の転換を含めて対応ができることがあるかと思っていますので、今後、ご検討していきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

この点に関しましては、県の方からもご出席いただいているんですが、何かご意見の補足でございましたらお願いいたします。

(県医療政策課吉村係長)

医療政策課の吉村です。

私が使っていた端末のちょっと調子が悪くてすみません失礼いたしました。

先ほどからお話いただいています通り、まずは、全体の状況をちょっと把握させていただくということで、医療圏ごとに状況を報告いただくような内容で作業いただいております、本日の調整会議におかれましても、その状況が、皆様の中でまず共有していただいた上で、各医療圏の内容につきましては、これから我々の方でまず集約させていただいた上で、場合によってはその医療圏を超えた範囲での調整なども含めて、検討のする必要がございますので、そういった議論を今年度 1 年間使って進めていくということになるかと思っております。

(遠藤委員)

すみません。ベッドのことでちょっと質問させてください。

高度急性期、急性期、回復期のバランスを見ると、高度急性期が非常に少なく、回復期が足りないという感じですね。ただ、この医療圏で大きな病院がそんなにないので、高度急性期をこれ以上ふやすのは難しいと考えると、高度急性期と急性期機能数を合わせて、急性期の中から回復期に持っていくというような、そんな構想になっていくのでしょうか。

(県医療政策課吉村係長)

それも含めて、地域ごとということにはなるのですが、実際に今おっしゃっていただいたように、高度急性期と急性期を一つの枠として見ながら、今不足している回復期ですとか、療養期の方の、全体の病床数の調整を行うという考え方もあるというふうに承知しております。

(遠藤委員)

これは申し出もあるし、県の調整本部の方から、回復期にはできませんかっていうのを呼びかけとかもあるってことですか。

(県医療政策課吉村係長)

直接的に県の方からこのようにしてくださいとかこのようにすべきだというようなことを申し上げるような話ではなくて、あくまでその地域ごとの事情がございますので、その部分はですね、コンセンサスがきちんと取れるような形で調整を行っていただく、県としてはそれに際しての必要となるデータの提供でございますとか、或いはこういった視点でという他の調整会議等で出た意見等も踏まえて、補足で意見を述べさせていただくような形で調整会議の議論が深まっていくように、支援と申しますか、ご協力させていただければというふうに考えてございます。

(遠藤委員)

そうすると、具体的な呼びかけなし、申し出ただけだとなかなか話が進まないような気がしますが、医療構想調整会議の方で取りまとめて、保健所を含めて呼びかけを行っていくということになっていくのですね。

(県医療政策課吉村係長)

おっしゃる通りです。

(遠藤委員)

なかなか難しいですね。

(県医療政策課吉村係長)

そうですねはい。難しいことかなとは、承知しております。

(石田委員)

遠藤先生ありがとうございます。先ほど資料 1 の 3 ページに集計した結果をお示しいたしましたけど現状は、高度急性期、急性期回復期、慢性期を区分すると現状では急性期が多い一方で回復期とか高度急性期とかは少ないというような状況です。県の方で今回お示しいただきましたような軽症急性期については、むしろ機能的には回復期的な役割を担うものが多いだろうということで、回復期として扱うということです。2025 年を見据えると、そこで病床機能的には必要だと思われるようなところと、現状とでは乖離があるかもわかりません。

地域の関係者間であるべき病床の機能の検討を進めていくというのが、この会議の目的でもあります。非常に難しい作業だと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

先ほど美浦中央病院岩瀬院長のお話にもありましたが、一方で必要となってくる病床機能もできますので、この会議でご議論いただければというふうに思ひます。

よろしくお願ひいたします。

(遠藤委員)

結構経営とも関わってくるのでなかなか難しいなと思ひて聞いていました。

(真壁協議会長/調整会長)

真壁ですけど、それぞれの病院としてニーズ、やらなきゃいけないこと、やりたいことがあっても、この地域の枠で思うようにいかないこともあるかと思ひます。

そして(思うように)いかない結果、やっぱり経営運営もちょっとうまく予定通りいかないなんてこともあるのだとすれば、なかなか、難しいお話なのかなと思ひます。

地域医療構想ということで、各病棟の機能がきちんとこのエリアはきちんとあるよっていうのを目指しているんですけど、それには各病院の話し合いがあつて、ある病院は急性期、こつちは回復期、慢性期と、みんながそれにしようとして 1 回で決まればいいわけですけど。現状はそうはいかないってところが、この会議の難しいところだと思ひます。

一方で、地域医療をまとめていくためには、そういう議論は不可欠ですが、もしかすると、今回はこういう形で少し、身を引くじゃないですけど、運営的に網は経営的にちょっとこうマイナスになろうとも協力し合うってのが、もしかすると、国のそういう構図なのかなと思ひます。

それぐらいしか、まとめる方法がないですね。誰か独裁者がいて、こうします。やりましようって言うのは、遺恨が残ると思うのですよね。

最終目標に向かつて、考え方を何通りも検討しながら、地域医療を全うしてくつていうような構図な

のかなあとってはいます。

皆さんの貴重なご意見はですねどんどん言ってもらった方がいいと思うんです。

ということで今お話、何人かの先生からいただきましたので、今後もですね、そういうことで、事務局宛に意見を言っていた方が、調整がしやすい或いは調整する材料になるということで、今日はこういうWeb会議なんですけれども、貴重なご意見も出ましたので、それを記録して今後に生かしていきたいと思っております。

皆さんご意見その他ございますでしょうか。

(福井委員)

福井ですけども一言よろしいでしょうか。

(真壁協議会長/調整会長)

はいお願いいたします。

(福井委員)

他の自治体での地域構想調整会議も出たことありますけれども、なかなか今いろいろご意見出ましたように、判断が難しく、何を指標に考えて判断するのか、もう非常に難しくですね。

病床機能の変換のことにつきましても、少し変えるだけで、その医療費が全体として、どれくらい動くのかとか、それから個々の医療機関の経営に、どういう影響をもたらすのか、または医師や看護師、が確保できるのかとか、それは最も大切なその患者さんにとってよりよい医療になるのかという、そういう何かこう、もう、これをこう変えたらこういうふうなアウトカムが変わってくるというふうな、そういう予測値も何もなくて、何となく、病床の機能といいますか種類についての話し合いだけになってしまって、何を指標にこう判断したらいいのかがわかりにくくなるように持っていて、なかなかデータも出しにくいんでしょうけれども、何かこうしたらこんなに少なくとも患者さんにとっては良くなるというふうなことがわかるような、そういう何か議論に持っていけないかなあとってはいます。

ただ事務局はものすごく難しいということは重々承知の上で、いつもそのように思います。

すいません感想です。

(真壁協議会長/調整会長)

貴重なご意見ありがとうございます。

それでは事務局にお返しいたします。

(事務局)

田宮委員ご発言をお願いします。

(田宮委員)

今、少し議論が出たので私の方も少しお話させていただければと思ったんですけども。

一つやっぱりデータがなかなかないというところで、まず考えられることとしてやっぱりレセプトデータの分析とかは前々から話が出ていると思うんですけども、どの患者さんがどこにどんなふう流れていってるのかっていうのはレセプトである程度わかりますので、大学として、私たちもできる協力はさせていただこうと思っておりますがなかなかそのデータビリティが、簡単ではないんですよ。

今、別の分析の関係で大学の方で今県の方とレセプトの共有という話が進んでいますが、地域医療構想についてのレセプトの共有の話があんまり進んでいないような気がしています。

私たちも大学としてできることはという気持ちでありますので、貴重なデータがある、ありながら、なかなか活用できないというもどかしさもあるので、そういうことも検討いただければと思います。

(真壁協議会長/調整会長)

ありがとうございます。

確かにその通りですね。レセプトはデータの宝庫ですからね。ただ数字以外のものがある人々に知られているところもあるってのがやっぱり一つ懸念の問題かなとは思いますが。

できるデータとしてはプールされているデータがあるというのは事実でありますので、事務局にもその検討に加えていただければ、お願いしたいところです。

(田宮委員)

お願いします。

(事務局)

ありがとうございました。

レセプトデータについては、お話のあったとおり一番量のあるデータの部分になってくるかと思っておりますので、ご協力の方でお願いいただければと思います。

ただ、県の方からいただいている部分でございますので、この辺りちょっと調整してからですねまた改めてご連絡いただければと思います。

(事務局)

他にご意見ある方はございますでしょうか。

真壁先生も以上でよろしいでしょうか。

(真壁協議会長/調整会長)

拙い進行になってしまっているんですけど、このテーマがものすごく大きいものですから、本当にこれがみんな納得できずで本当にできるかどうか、疑問符もありますが、皆様のご意見、お力を借りてです、まとめていけるよう頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

(事務局 竜ヶ崎保健所 會田次長)

真壁会長には会議の進行ありがとうございました。

皆様にはご多忙のところ、長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第1回取手龍ヶ崎保健医療福祉協議会及び第1回取手龍ヶ崎地域医療構想調整会議を閉会とさせていただきます。

ご参加ありがとうございました。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和 4 年 月 日

取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議会長

会議録署名人

会議録署名人